

かまにし

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

第95号



区長表敬訪問時の様子

昨年度開催された「第三十三回春の全国小学生ドッジボール選手権」、そして今年度の「第三十四回春の全国小学生ドッジボール選手権」に東京都代表として出場した「道塚ドリームウイングス」は二年連続でのベスト8という快挙を成し遂げました。

この全国大会は、各都道府県の予選大会（約八百チーム）を勝ち抜いた四十八チームが参加して行われました。

全国大会出場の前日、鈴木晶雅大田区長へ表敬訪問に伺い、区長



わがまちの顔 道塚ドリームウイングス 全国大会三年連続ベスト8の快挙

から「これまで頑張ってきた練習の成果を存分に発揮してください」のお言葉をいただきました。

道塚ドリームウイングスは、平成八年に創立され道塚小、相生小を中心に、小学一年生から六年生まで四十六名が在籍し、道塚小等を拠点として練習しています。週末は都内や他県への練習試合や大会にも参加しています。

これまで、東京都大会優勝九回、全国大会出場八回（一回はコロナ禍で全国大会が中止）、その中で、令和元年度に開催された「第三十回夏の全国小学生ドッジボール選手権」では、準優勝という輝かしい実績を残しています。

練習風景を含め取材に伺いました。大きな声を出して元気いっぱいの子ども達が楽しく真剣に練習に取り組んでいました。チームの代表兼監督の瀬尾泰広さんに指導方針、今後の目標を含めお聞きしました。「チームで大切にしていることは戮力協力（りきりよくきょうしん）です。この言葉は全員の心を一つにして、一致団結して物



チーム全体での集合写真

事を行うという意味です。子ども達・保護者・指導者が三位一体となつて、チーム活動に取り組むことを大切にしています。ドッジボールを通して子ども達の自己肯定感を高めたり、健全育成を図ったり、することを大切にしていきたいです。」

また、キャプテンからも話を聞きました。「学年関係なくみんな仲がよいので、楽しみながら頑張つて練習しています。」

今年度は、七月十三日に開催された全国大会予選会で優勝し、八月十七日に群馬県高崎市で行われる第三十四回夏の全国大会に出場します。

こんな身近に全国レベルの素晴らしいチームが活躍しています。これからも皆さんで応援していきたいでしょう。

（取材 横山・伴野委員）

ご存じですか？ 東急線のフクロウ像

東急線の線路脇にはフクロウがいます。本物ではありませんが、首の向きがときどき変わりますが、なぜフクロウ？東急電鉄株式会社の報道担当者様にお聞きしました。

★ フクロウ像の目的は？
池上線と多摩川線の過去、置き石があった所に、防鳥用に市販されているフクロウ像を設置しています。

★ 効果はありましたか？
置き石は減少しましたので、効果はあったと考えています。

★ 誰が考えたのですか？
弊社保線区担当者からの提案を受けて試験導入しました。

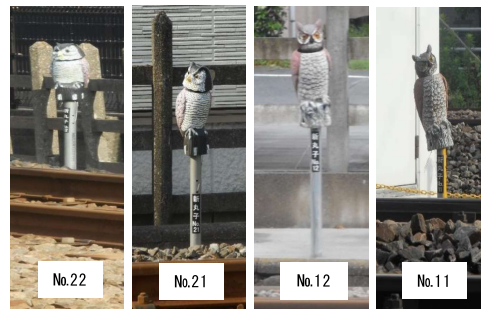
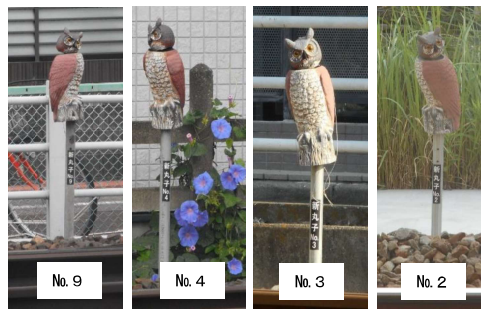
★ ポールに「新丸子」と記載？
新丸子保線区を表します。

★ 蒲田西地区に何羽いますか？
九羽います。

★ フクロウは今後増えますか？
東急線では池上線と多摩川線以外にカラスと思われる置き石がないため他路線には設置せず今後広げる予定はありません。

★ いつ始めたのですか？
二〇二三年二月に鶴の木・池上駅付近に設置を始めました。

★ フクロウを選んだ理由は？



★ ネットやCDを使ったカラス除けは鉄道では難しいため、カラスの天敵とされるフクロウ、オオタカ、トンビなどのうち、市販されているフクロウを設置しています。

★ 取材者（近藤・大良委員）

取材者の一人（大良）は近所の方からフクロウ像の話を聞き、ずっと気になっていました。様々なことがわかり、うれしかったです。右下の一覧表をたよりにして、フクロウを探しに行きませんか？（取材 鎌谷・近藤・大良委員）

蒲田西特別出張所管内

人口	男	33,410 人
	女	30,737 人
	計	64,147 人
世帯	38,921 世帯	

令和7年8月1日現在

「かまにし17」でウェブ検索するとカラー版を見ることができますよ！

蒲田西地区のフクロウ像（取材者作成）

No.	最寄りの住所	路線
2	西蒲田 2-6-20	池上線
3	西蒲田 7-58-1	多摩川線
4	新蒲田 2-9-7	多摩川線
8	西蒲田 7-60-9	池上線
9	多摩川 1-7-17	多摩川線
11	西蒲田 7-71	池上・多摩川線
12	東矢口 3-26-5	多摩川線
21	新蒲田 3-28-1	多摩川線
22	東矢口 3-25-7	多摩川線

※No.21、22 は他と形が少し違います！



今年で創立百周年を迎える相生小学校について紹介させていただきます。

J R 蒲田駅西口より北西に約四百m(徒歩約七分)の位置にあり、西蒲田五丁七丁目の学区域のほぼ中央に位置しています。学区域の東は呑川と東海道線に面し南と西は東急池上線・多摩川線に接し交通の要地となっています。東西にずらり通り、南北には大城通りがありバス、タクシーを含む交通量も多いです。蒲田駅周辺は商店や飲食店が多く大田区の中心的な繁華街を形成しており、本校は静かな環境に位置しています。しかし、御園中・道塚小・相生小の三校は、青少年健全育成のために、第十四代PTA会長吉川武夫氏提唱の「あじさい運動」を行い、連携を図っています。さらに地域の関係諸機関の協力もあり「いじめ対策」「不登校対策」などに大きな成果をあげています。

(大田区立相生小学校学校要覧より)

＊相生小の学区域は西蒲田女塚町会、西蒲田六丁目自治会、蒲田西口町会、西蒲田七丁目御園町会(一部地域を除く)

＊現在、相生小学校の学区域の町会長は全て相生小学校の卒業生である。

地域出身の著名人として以下の方達が確認できます。漫画家・石井いさみ氏(かまにし17第五号掲載) 工芸作家・芹澤銑介氏(同三十号掲載)、俳優小沢昭一氏(同五十号掲載)、俳優小沢昭一氏(同五十号掲載)、俳優、歌手、女優、慈善活動家、宮城まり子氏(同八十九号掲載)

創立百周年航空写真説明

ちやうど曇っていて暑さもそれほどもなく、まさに航空写真日和でした。それぞれが前日に書かれた線の上に並び、赤、青、黄色などの紙を両手で持ちました。「今、ヘリコプターが撮影しているから動かないで」と言われ、みんな腕が痛いのも忘れて真剣に紙を持つて動かないようにしました。「撮影終了、ヘリコプターに手をふつて。」と言われて、みんなでほつてしました。放課後、一年生が二人校長室を訪れ、「今日撮った写真はどれかなあ」など校長室の航空写真を眺めていました。まだできていないことを告げたところ、校長室を後にしました。みんなでお話を合わせて撮った写真の完成が楽しみです。

(「相生だより」二〇二五年六月号より・五月十四日撮影)

相生小学校百年の歴史

開校直前の終わり頃、子どもの数も増え、蒲田小学校(蒲田尋常高等小学校)だけでは教室が足りなくなりました。そこで大正十五年七月一日蒲田小学校から分かれて私たちの学校相生小学校が誕生しました。十四学級、児童数七百四十九名。相生小学校の始まりです。

第一期生高瀬日出夫さんの話

私は六年生の七月に蒲田小学校より分かれて相生小学校に来ました。六年生は二組で一組は中学進学組、二組は自営業につく組です。当時、休み時間には、デッドボール(今のドッジボール)が盛んでした。学校は女塚神社の森に囲まれ、裏の小川には魚が泳いでいました。今の運動場の半分は池だったと思います。

(六十周年記念誌より)

百年のあゆみ

昭和八年(一九三三) 東京市相生小学校となる。
昭和九年(一九三四) 工芸作家芹沢銑介氏蒲田へ移住
昭和十二年(一九三七) 校歌ができる。
作詞は当時の折居千一校長先生、作曲は音楽を教えていた江口チト

セ先生。校歌に歌われている富士山も夕方には美しい姿を浮かべ、多摩川でも子ども達が泳いでいたそうである。江口先生は晩年の教育者としての全てを相生小学校への教育活動に捧げられた。

昭和十六年(一九四一) 太平洋戦争開戦。
昭和十七年(一九四二) プール完成、俳優・作家の小沢昭一氏通学中
昭和十八年(一九四三) 東京都相生国民学校となる。
昭和十九年(一九四四) 学童疎開開始
昭和二十年(一九四五) 八月一日終戦

十二月、児童達が集団疎開より帰郷。戦災にて校舎が無く通学は矢口小学校、矢口東小学校の二校となる。
昭和二十二年(一九四七) 校名が東京都大田区立相生小学校となる。仮校舎四教室が完成。
昭和二十三年(一九四八) 漫画家石井いさみ氏入学。
昭和二十七年(一九六二) 前年度卒業生より校旗寄贈
昭和四十三年(一九六八) 体育館、給食室、理科室などの鉄筋校舎ができる。
昭和五十年(一九七五) プールと校舎完成
平成七年(一九九五)



「社会を明るくする運動」駅頭広報活動

パソコン教室ができる。
平成九年(一九九七) 耐震補強工事完成
平成十三年(二〇〇一) パソコン室インターネット設備
平成十四年(二〇〇二) 完全週五日制となる。
平成一六年(二〇〇四) 平日の校庭開放、土曜教室始まる。
平成十八年(二〇〇六) 全教室にエアコン設置
平成二十六年(二〇一四) 図書室の整備を実施
令和七年(二〇二五) 開校百周年記念式典挙行予定

百周年を迎えるにあたり

石川 貴美子 相生小学校長
地域の方に愛されながら一一八〇八人の卒業生を出した相生小学校の百年の歴史を日々感じています。令和七年度は開校百周年をみんなでお祝いする一年にしたいです。地域の皆様、どうぞよろしく願います。

市ノ瀬 慎治 PTA会長
本年度、相生小学校百周年を迎えました。こんなに長く地域と一緒に歩んできたこと、本当にすごいことだと思います。子どもたちの笑顔があふれるこの学校を、これからもみんなで大切にしていきたいです。私も少しでもその力になれるように頑張ります！これから相生小学校をどうぞよろしく願っています。

竹山 恵誠 前PTA会長
「百周年楽しみなだね」と、沢山の声をいただいております。より多くの方々と相生小の百周年をお祝い出来たらと思っております。そんな中で蒲田西口商店街振興組合様に協力頂き、サンライズ蒲田の大型ビジョンで相生小学校の百周年を宣伝していただける事となり、関わる子ども達も大人も張り切って準備しています。
(取材 伊藤・原澤・下山委員)